

令和4年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	日常生活援助技術Ⅰ（環境）	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 令和4年4月18日～5月	単位数/時間	1単位/30時間 日常生活援助技術Ⅰは ①環境：12時間 ②活動と休息：18時間を合わせて1単位となる
担当講師名	村井 優子	所属・役職	宮古高等看護学院・看護教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護の対象の療養環境を正確に把握し、清潔で安全・安楽な環境を整え、対象が心地よく療養できる援助方法について学ぶ。		
到達目標	1. 療養生活の環境を構成する要素と病室・病床の環境調整の方法を理解する。 2. 清潔で安全な寝心地のよいベッドを提供するための技術を習得する。		
事前学習内容	テキストの該当ページを読み、事前学習した上で授業に臨むこと。 ※第1回は事後学習で構わない		
成績評価の方法	・筆記試験による評価（40点）、授業態度（著しく悪いときは減点対象とする） ※活動・姿勢の単元と合わせて、60点以下の場合は再試験の対象となる。		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院, 2022 ②看護技術プラクティス, 学研, 2019		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	テキスト	授業形態
第1回	環境調整の意義と援助の目的 療養環境を構成する要素	①：p10～18 ②：p10～13	講義
第2回	療養環境を調整する視点, ベッドメイキング	①：p18～21	講義
第3・4回	ベッドメイキングの実際	①：p22～25, 476	演習
第5回	ベッド周囲の環境整備, リネン交換	①：p18～26, 476 ②：p14～16	講義・GW
第6回	臥床でのリネン交換	①：p25～26, 476 ②：p16	演習
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・質問には、はっきりとした反応を示すこと。 ・第4～6回の演習の際は、身だしなみを整えて演習に臨むこと。 ・演習内容で分からないことや確認したいことは、その場で相談すること。 ・看護技術を習得できるように、授業以外でも積極的に自主練習に取り組むこと。 		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	日常生活援助技術Ⅰ (活動と休息)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2022 年 5 月 10 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 2 単元で構成される ・ 環境：12 時間 ・ 活動と休息：18 時間
担当講師名	山本 穰	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	1. 患者・看護者とも安全・安楽で効果的な動きについて理解する 2. 日常生活の自立を支える看護技術(体位変換、移動など)を習得する		
到達目標	1. ボディメカニクスの基本を理解し、看護実践の場で活用できる 2. 運動機能の低下した患者の活動を促す援助の方法を理解できる(歩行の援助、体位変換、車椅子およびストレッチャーの移乗・移送) 3. 睡眠・休息を促す援助の方法を理解できる		
事前学習内容	解剖学Ⅰで学習した、筋・骨格に関連する内容		
成績評価の方法	本単元の配点は 60 点であり、筆記試験で評価する。同科目の「環境」の単元 40 点との合計 100 点のうち 60 点未満の場合は、両単元が再試験となる		
使用教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ(第 18 版第 2 刷、医学書院) 2. 看護技術プラクティス(第 4 版第 1 刷、学研メディカル秀潤社)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1・2 回	基本的活動の基礎知識、活動の援助に必要なアイテム(杖・歩行器、車椅子、ストレッチャー)、体位		講義
第 3・4 回	体位変換		演習
第 5・6 回	歩行の援助、ベッド⇄車椅子の移乗		
第 7・8 回	車椅子およびストレッチャーの移送		
第 9 回	睡眠・休息の援助		講義
履修上の留意点	1. 本単元の授業形態の大半はグループ単位での演習である。他グループへの影響を考慮し、騒がしくならないように演習する 2. 演習時は学生どうしの体の接触の機会が多い。しかし、CIVID-19 の感染拡大防止の観点から、必要時以外はソーシャルディスタンスを心がける 3. 演習時には、事前に身だしなみを学生どうしでチェックする。身だしなみが本校の基準に達していない時には、当該授業の受講は不可であり、欠課扱いとする 4. 演習時、ベッドからの転落や、移送時の転倒など危険が予測される。けがをしないように、安全には十分に注意する 5. 上記の授業概要(主な学習内容)は暫定である。授業の進捗状況次第で適宜変更の可能性あり		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	日常生活援助技術Ⅱ (清潔・衣生活)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2022 年 6 月 10 日	単位数/時間	1 単位/30 時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	身体各部や衣類の清潔が生体や精神に及ぼす影響、援助時の看護の役割を理解し、対象の状態に合わせた援助技術について学ぶ。		
到達目標	1. 衣生活・清潔の意義を理解できる 2. 演習を通して、基礎的な看護技術の原理原則を理解できる 3. 対象の安全・安楽に配慮した実践方法を習得できる		
事前学習内容	第 1 回目の授業は <u>皮膚・粘膜の構造と機能について事前学習</u> してきてください 第 2 回目以降は、都度課題を提示します		
成績評価の方法	1. 終講試験による評価 2. 課題レポートの提出状況（提出期限の遅れや内容が不十分だった場合は終講試験の結果から減点） 3. 出席状況（学則に準ずる）		
使用教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ（第 18 版第 2 刷、医学書院） 2. 看護技術プラクティス（第 4 版第 1 刷、学研メディカル秀潤社）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	清潔・衣生活の意義		講義
第 2 回	清潔・衣生活の意義		
第 3・4 回	手浴・足浴		演習
第 5・6 回	口腔ケア		
第 7・8 回	寝衣交換		
第 9・10 回	全身清拭		
第 11 回	おむつ交換		
第 12・13 回	陰部洗浄		
第 14・15 回	洗髪		
	※夏季休暇中に爪切り、髭剃り・耳掃除・洗髪の自宅での演習課題があります。 ※夏季休暇明けより、清潔援助の技術チェックを実施します。		
履修上の留意点	・演習前は、身だしなみチェックリストに準じて <u>身だしなみを整え演習に臨んでください</u> 。基準に反する場合、演習への参加は認めません。 ・演習に臨む際は、 <u>患者・看護者役に徹し</u> 、それぞれの体験を通して対象に合わせた <u>看護実践を迫及</u> する行動をとりましょう。 ・主体的に自己演習に <u>励み</u> 、技術・知識の向上にむけて <u>研鑽</u> しましょう ・演習前には、必要物品の準備やベッドメイキングの指示を出します。準備・後片付け・清掃は <u>協力し合い責任を持って行ってください</u> 。 ・演習時に個人のタオルや洗浄剤等が必要になる場合があります。忘れずに準備をしてください。		

令和4年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	日常生活援助技術Ⅲ (食生活・栄養)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 令和4年6月28日	単位数/時間	1単位/30時間 日常生活援助技術Ⅲは ①排泄15時間、②食事・栄養15時間を合わせて1単位となる
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院 専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	食事の意義、食事制限や食事を摂取する機能の障害が対象に及ぼす影響を理解し、対象に適した食事援助の方法を習得する		
到達目標	1. 食事の意義を理解できる 2. 栄養・食事に関するアセスメントを理解できる 3. 対象に合わせた食事介助の方法と留意点を理解できる 4. 栄養摂取方法の種類を理解できる		
事前学習内容	消化器系の構造と機能、三大栄養素の消化と吸収について既習事項を確認してくること 第2回目以降はその都度指示する		
成績評価の方法	①終講試験（50点） ※排泄の単元と合わせて、60点以下の場合は再試験の対象となる。 ②課題の提出期限の遅れや、課題の内容が不十分であった場合は、終講試験の結果から減点		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ，医学書院，2022 ②看護技術プラクティス，学研，2019		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	食事の意義、食事に関連する生理学的メカニズム		講義
第2回	栄養状態および食欲・摂食能力のアセスメント		講義
第3回	医療施設における食事の特徴、食事介助方法		講義
第4回	摂食・嚥下訓練、非経口的栄養摂取方法		講義
第5回・第6回	食事介助演習		演習
第7回	経管栄養法		演習
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、事前に配布される資料を必ず熟読してから授業に臨むこと。 ・演習には真摯な態度で臨み、技術習得に精進すること。 ・分からないことをそのままにせず、疑問を解決するための行動を積極的にとること。 ・食事介助の演習は、各自の弁当を使用し昼食として実施する予定。 		

令和4年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	日常生活援助技術Ⅲ（排泄）	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 令和 4 年 7 月 1 日～	単位数/時間	1 単位/30 時間 日常生活援助技術Ⅲは ①食事・栄養：15 時間 ②排泄：15 時間を合わせて 1 単位となる
担当講師名	村井 優子	所属・役職	宮古高等看護学院
		資格・免許	専任教員・看護師
授業の概要	排泄の意義、排泄が生体や精神に及ぼす影響、排泄障害のある患者に対する援助方法について学ぶ。		
到達目標	排泄の意義、排泄が生体や精神に及ぼす影響を理解し、排泄障害のある患者に対する援助方法を習得する		
事前学習内容	テキストの該当ページを読み、事前学習した上で授業に臨むこと。		
成績評価の方法	・筆記試験による評価（50 点）、授業態度（著しく悪いときは減点対象とする） ※食事・栄養の単元と合わせて、60 点以下の場合は再試験の対象となる。		
使用テキスト	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ，医学書院，2022 ②看護技術プラクティス，学研，2019		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	テキスト	授業形態
第 1 回	排泄の意義としくみ、排泄のアセスメント	①： p 64～71 ②： p 181～184	講義
第 2 回	自然排尿および自然排便の介助の実際	①： p 71～79 ②： p 172～180	講義
第 3 回	ポータブルトイレでの排泄の援助	①： p 73 ②： p 178～180	演習
第 4 回	便器・尿器を使用したベッド上排泄の援助	①： p 74～76 ②： p 172～177	演習
第 5 回	排尿・排便障害時の介助の実際	①： p 79～102 ②： p 189～207	講義
第 6 回	浣腸・摘便	①： p 87～94 ②： p 196～201	演習
第 7 回	一時的導尿	①： p 79～83 ②： p 190～193	演習
修上の留意点	・質問には、はっきりとした反応を示すこと。 ・演習の際は身だしなみを整えて演習に臨むこと。 ・演習内容で分からないことや確認したいことは、その場で相談すること。 ・看護技術を習得できるように、授業以外でも積極的に自主練習に取り組むこと。		